

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.6	BEEランク	A
建物名称	JR北海道社員研修センター	総合評価	★★★★★		
建物用途	事務所,ホテル,				
延床面積	17,871.08 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★
	省資源等	★★★★☆
	緑化	★★★★★
	雪処理	★★★★★

レーダーチャート

この建物は特に
緑化への取組
が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計	18点	／24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0	
Q1 光・視環境	スコア 3.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 2.0	
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 6.0	
		LR1 効率的運用	スコア 2.0	
B 省資源等		合計	15点	／23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 6.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 2.0	
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.0	
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	
C 緑化		合計	12点	／16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 4.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理		合計	3点	／3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー	B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
自然通風・自然光を有効利用すると同時に、高効率な機能を採用し、エネルギーの低減を図った。Low-eのペアガラス+断熱サッシの選定により、熱負荷低減に配慮した。照明器具は全てLED光源の器具を採用することで照明電力の削減を行う。また、照明制御についてはトイレ・階段室に人感センサー制御を採用。照明制御盤を1階通信機器室に設置し宿泊室以外の全館の統合管理を行う。共用部の一部に照度センサーを設置し昼光制御により省エネを行う。換気設備においてクール・ヒートチューブを導入し自然エネルギーを利用した省エネを図っている。	スパンと階高の合理的な構造計画とすることで、躯体・仕上に使用する資材の低減を図った。外装材はメンテナンスフリーかつ耐久性の高い材料とした。	「札幌市緑の保全と創出に関する条例」の許可基準に基づいた植栽計画とし、周囲の既存緑地と連携することで、地球環境負荷の低減を同時に取り組んだ。	駐車場の配置を集約化し、除排雪がし易い計画とした。又、緑地の一部を堆雪スペースとして利用できるように配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される